



2019年12月発行



第18期平和フェロー



ロータリー平和センター 第18期 平和フェロー 10名来日

ロータリー平和センター ホストエリアコーディネーター

水野 功 (RID2750 PG)

地区ガバナー始め、会員の方々には平素から「ロータリー平和センター」プログラムへのご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

この度、ICUのピースフェローのご紹介や活動状況について「ロータリー平和フェローシップ・ニュースレター」を年2回発信することとなりました。皆さま、よくご存知のように、このプログラムはポール・ハリス氏没後50年を記念して、2002年にスタートしました。現在までに、1,300名を超える卒業生を輩出し、世界各地で様々な形で平和活動に尽力されていますが、残念ながら日本からは、未だ30数名の方しかこのプログラムを受講されていません。言語の壁等、難しい問題もありますが、各地から大勢の方々がこのプログラムに、参加されることを期待しており、その為の情報も今後、このレターにて配信して参りたいと思います。

RIでは今年から卒業生のネットワーク強化のために Alumni Relations Specialist として、Bill Rints氏を任命し、今年、2回訪日され、ネットワークの強化について意見交換を致しました。6月の16期生の終了式には、RIからプリンロータリー平和センター委員会委員長と担当のローラさんが参加されました。また、既報のように2021年には7つ目の平和センターがアフリカに設立されることが決定されました。このレターを発信することで、会員の皆様にとり、ピースフェローの存在が身近になることを期待しております。



ロータリー平和センタープログラム紹介動画



ロータリー平和センタープログラム：紹介動画を作成致しました。ご覧いただくことで、ロータリー平和センタープログラムの内容をご理解いただく事が出来ます。

ダウンロード

<https://rotary-peace.jp/movie/>

International Christian University Rotary Peace Center

<https://rotaryicu.wordpress.com/>



2019年8月22日(木)、国際基督教大学(アラムナイハウス)にてロータリー平和センター第18期フェロー10名とカウンセラーが出席し、初顔合わせ会が開催されました。続いて8月31日(土)には来日したフェローに対するオリエンテーションが学士会館で開催され、日本全国から多くのロータリアンが歓迎のために集まりました。



Wisdom Addo
(ウイズダム・アド)
出身国:ガーナ



Ibrahim Bah
(イブラヒム・バー)
出身国:シエラレオネ



Nguyen Thi Nhu Trang
(チャンティヌ・ヌエン)
出身国:ベトナム



Priyanka Borpujari
(プリヤンカ・ボルプジャリ)
出身国:インド



Derek Chin
(デレク・チン)
出身国:アメリカ



Abigail Connolly
(アビゲイル・コナリー) 出
身国:イギリス



Lai Yuen Looi
(ライユエン・ルイ)
出身国:マレーシア



Jaclyn McAlester
(ジャクリン・マカレスター)
出身国:アメリカ



Lorrain Hayman
(ロレイン・ハイマン)
出身国:イギリス



Elkin Salcedo
(エルキン・サルセト)
出身国:コロンビア

ロータリー平和センター・プログラム沿革

世界の理解と平和の推進を目指すロータリー後援の学園を創設することは、積年の夢でした。過去25年にわたり、この夢を現実にするために、数々の新しい推進計画が提案されてきました。1996年、ラジェンドラ・サブー・ロータリー財団管理委員会委員長の指導の下、1947年に亡くなったポール・ハリスの逝去50周年を記念して捧げる形で、教育センター、研究所あるいは大学を創設するという構想を検討するための委員会が結成されました。高等教育を専門とする4名のロータリアンから成るこの委員会は、様々な教育機関のモデルを検討し、最終的に世界中の数カ所の大学にポール・ハリス国際研究センターを創設するという案を推奨しました。このセンターは、フェローが国際関係、紛争解決、平和などを中心とする分野で修士号を取得するというものでした。財団管理委員会は基本的にこの案を採択し、この計画を練るためにロータリアンから成る委員会を任命しました。

以後2年がかりで、委員会は同センターの構想を描き、大学側の提案書を検討し、センター開設に関心を示す大学を実地訪問しました。1999年管理委員会は、「平和及び紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター」を創設する計画を承認しました。センターの名称は、ポール・ハリスの名前がロータリーの外部ではあまり知られていないことを考慮にいれ、ロータリーの平和への専心を社会に広く理解してもらう目的でつけられたものです。

ロータリー平和センター委員会は、100校以上の大学について検討を重ね、地理的多様性、ロータリー財団への協力に対する大学の意欲、優れた教授陣と教科課程及び国際関係、平和、紛争解決を教科の柱とする既存の修士課程など、具体的な選考基準を基に、管理委員会に最終提案を提出しました。こうして2002年に、ロータリー平和フェローが誕生し、ロータリー平和センターで修士号を取得するための就学を開始しました。

2006年、国際問題研究のためのロータリー平和センター・プログラムのもう一つのプログラムとして、短期的な平和研究プログラムが開始されました。この短期プログラムは、修士号取得プログラムの代替えオプションとなるものであり、数ヶ月間しか職場を離れることができない中級職や上級職の社会人を引きつけ、ロータリー財団の経済的負担を減らし、世界理解と平和に対するロータリーの投資効果を直ちにもたらすものでした。2008年管理委員会は、ロータリー平和センター・プログラムの一部としてこの短期プログラムを恒久的に設けることを承認しました。



ホストエリア連絡協議会

URL <https://rotary-peace.jp/>

ホストエリアコーディネーター

水野功 (第2750地区 東京飛火野 RC)

ホストエリアコーディネーター補佐

宮崎陽市郎 (第2750地区 東京三鷹 RC)

鬼嶋雄三 (第2590地区 横浜都筑 RC)

佐藤利光 (第2580地区 東京青梅 RC)

ホストエリアアドバイザー

山崎敬生 (第2790地区 市川 RC)

ホストエリア連絡協議会統括

水野正男 (第2770地区 上尾西 RC)

講演依頼/その他問合せ

ホストエリアコーディネーター補佐

宮崎陽市郎 (第2750地区 東京三鷹 RC)

電話番号 : (090) 1656-8295

E-mail : yoichiro-m@nifty.com

応募者推薦について

問合せ

第2750地区ロータリー財団委員会

平和フェロシップ委員会 委員

柴宮克彦 (2750地区 東京世田谷南 RC)

E-mail : shibamiya@me.com

私は、ためらうことなく断言できます。世界平和は達成出来る、と。さらに、友情、寛容、人の役に立つというロータリーの堅固な土台の上に平和を築くなら、恒久的なものにすることができます。

キューバでひらかれた
1940年 RI 国際大会でのメッセージ
ポール・ハリス語録

今後の予定

- 日本文化交流会 2020年5月16日(土)
- ロータリー平和センターセミナー
第18回ロータリー平和センター年次セミナー
(平和フェロー第17期生による研究発表)
第17期平和フェロー修了を祝う会
2020年6月20日(土) 10:00~20:00
国際基督教大学
東ヶ崎潔記念ダイヤログハウス国際会議場
- 第19期平和フェロー オリエンテーション
2020年9月5日(土) 15:00~
学士会館

ホストエリアコーディネーター補佐 宮崎陽市郎

お陰様で、昨今、全国から、地区大会・地区指導者育成セミナー・ロータリー財団セミナー等、ホストエリアに講演依頼を多数頂くようになりました。中にはフェローや学友の講演依頼も入りますが、現役フェローは、学業、研究に忙しく、又、卒後の学友は日本から離れ、世界各地で活動を始めております。

私共も各地区のお役にたてます様、出来る限りの対応をいたしますので、どうぞお声がけお願いいたします。

尚、わかりやすいプログラム動画も作成してございますからホストエリア・サイト(1p記載)よりダウンロード頂き、ご活用願います。